

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館付属

マドリッド日本人学校

文責 久保 俊博

平成28年6月1日 No. 3

「空気の色って…！」

久保 俊博

先日、新しい本が置いてある視聴覚室の本棚を見てみると、「見えないチカラとキセキ」というタイトルが目飛び込んできました。

これは、ロンドンパラリンピック・ゴールボール金メダリスト浦田理恵さんのお話です。彼女は、小学校、中学校、高校で普通の学校生活を送っていました。高校卒業後、福岡教員養成所という専門学校に入学しましたが、卒業3ヶ月前に「網膜色素変性症」という病気を発症します。そこから、彼女の進路は大きく変わります。1人で住んでいた彼女は、両親に心配かけたくないと思い、打ち明けられずにいましたが、目が見えなくなったことを正直に打ち明けます。

その時、お母さんからは思いもかけない一言がありました。それは、

「ごめんね。目の悪い子に生んでしまって。ごめんね。気がついてやれなくてごめんね…。」

彼女は驚きます。しかし、なぜか彼女の心に安心感が芽生えます。もう見えるふりをしなくていいんだ。がんばらなくていいんだ…と。

泣き崩れていたお母さんは、気を落ちつかせると立ち上がり、

「目が見えなくなったんなら、目なくても自分で自分のことくらいはできるようにならんかね。どうしようかね。」と言います。ここから、彼女の人生は自立へ舵をきります。そうした前向きな意識が、新たな世界と出会います。それが、彼女にとってはゴール・ボールだったのです。

日々努力して、彼女は金メダルを勝ち取ったのですが、私は、彼女が偉業を達成したことではなく、彼女の人のと接し方に感銘を受けました。その一つは、「誰にでもで

きる挨拶ですが、相手の返答がぶっきらぼうな返答だと、周りの空気を重くしてしまいます。…視覚障がい者は音の情報が大部分を占めますから、相手の声の音頭で空気の色がサッと変わるのを感じるのです…」という文章です。二つ目は、「目では見えませんが、相手が下を向いたりよそを向いていることが、話をしていると分かりました。人を見て話さないって、こんなに相手に嫌な思いをさせるんだ…。見えない相手の目を見て話をするため、いつも15センチ上を見て話をするということを決めました…。」

人それぞれ、ハンデキャップは持っていると思いますが、それを少しでも向上させようとする心を持つことが、人生を豊かにする上でとても大切だと教えられました。

物質的なものだけに目を向けがちですが、自分の人生をより輝けるものにするものは、意外と身近にあるのかもしれない。

6月の行事予定

1	水	給食
2	木	全校集会、委員会
3	金	部活動
4	土	
5	日	
6	月	チャレンジ漢字テスト
7	火	宿泊学習前日集会
8	水	宿泊学習
9	木	宿泊学習
10	金	宿泊学習
11	土	
12	日	第1回英語検定
13	月	
14	火	
15	水	給食
16	木	プール開き
17	金	部活動(小のみ)
18	土	
19	日	第1回漢字検定
20	月	学校公開週間(24日まで)
21	火	宿泊学習報告会
22	水	給食
23	木	中学部期末テスト
24	金	中学部期末テスト、部活動
25	土	
26	日	
27	月	夏季体験入学開始
28	火	
29	水	給食なし
30	木	

明日の目標

時間を守って行動しよう

プール開きが行われます！

6月16日(木)、プール開きを予定しています。今年は、昨年と違い少々寒いようですが、「水泳を通して、体力と技能の向上を図る。」ことを目的に行われます。水泳をする日は、保護者に皆様に「健康観察カード」のご記入をお願いしています。どうぞよろしくお願い致します。

授業の成果は、7月20日の水泳大会でご披露致します。

運動会！無事終了

5月22日（日）、運動会が無事行われました。今年も、3週間前まで天候不順な日が続き心配をしていましたが、当日は、強い日差しもなく絶好の運動会日和となりました。

児童生徒たちは、この日のために練習した成果を十分に出し切ったと思います。今年も、各団に分かれての練習が立派だったと思います。特に、上級生がしっかりとリーダー性を発揮し、それに応えようと努力する下級生の姿は、とても微笑ましく、改めて児童生徒のすばらしさを感じ取ることができました。

運動会終了後、保護者の皆様には、後片付けまでご協力いただき感謝申し上げます。大変スムーズに片付けることができました。改めて感謝申し上げます。

全ての後片付けが終わった後、「アルメンドロの会」の主催で歓迎会が行われました。皆様と交流を深めることができたのではないかと思います。また、ご準備などいろいろとお世話になりました。



学校公開週間について

6月20日（月）～24日（金）の5日間、学校公開週間を予定しています。21日には、宿泊体験学習報告会も行われます。是非、本校へお越しいただき、児童生徒たちの様子をご覧ください。

避難用出口

グラウンド横に、避難用出口が設置されました。

この出口を使った避難訓練も行う予定です。



教師のつぶやき

「ヨーロッパサッカーとの出会い！」

佐藤 友行



先週土曜日、UEFAチャンピオンズリーグがレアルマドリードの優勝で幕を閉じました。いまだ興奮冷めやらぬ、といった感じが、私が海外のサッカーに興味を持つきっかけとなった学生時代のエキサイティングな経験を紹介したいと思います。

冬の国立霞ヶ丘競技場。ヨーロッパチャンピオンのドルトムントと南米チャンピオンのクルゼイロが対戦したトヨタカップ（FIFAクラブワールドカップの前身）の会場で、警備会社のバイトをしました。大会当日は、IDカードを識別しての通行管理を行いました。人によって通行できるエリアが異なり、通行できない人を通らせないようにするのが仕事でした。私は、チーム関係者やVIPが通行できるエリアに配置されたので、両チームの選手やJリーグの有名選手を至近距離で見ることができました。テレビに映る選手たちを間近で見られることに興奮しました。また、休憩時間にはピッチの高さからプレーを見ることができました。Jリーグとは比べ物にならない個々の技術に衝撃を受けました。さらには、ハーフタイムのトイレでは、ドルトムントのツォルク選手と隣どうし並べたことにも感動しました。

それ以来ずっと、NHK-BSでブンデスリーガ、プレミアリーグやリーグを観戦してきました。今年、またもやヨーロッパサッカーを肌で感じられるチャンスが訪れました。リーグを観戦するだけでなく、マド日のサッカープレーヤーたちとも触れ合って、ヨーロッパサッカーを満喫したいと思っています。

マド日のみんなにも様々な経験をして、本当に好きなこと、本当にやりたいことを見つけてほしいと思います。



宿泊体験学習について



今年の宿泊体験学習は、6月8日～10日までの3日間で行われます。場所は「Granja Escuela El Paraiso」です。本校から80キロ南東に行ったところにあります。

児童生徒たちは、現在、しおりづくり等に頑張っています。保護者の皆様、準備等どうぞよろしくお願い致します。